

# 第70回岩手県高等学校総合体育大会実施要項

## (7) ソフトテニス競技

### 1 期 日

- (1) 前日準備・公式練習 平成30年5月31日(木) 9:00~16:00  
(2) 競技 1部 平成30年6月 1日(金) ~6月3日(日)  
2部 平成30年6月 3日(日)  
(3) 開会式 1部(個人戦) 平成30年6月 1日(金) 8:45~(受付8:00~8:30)  
(団体戦) 平成30年6月 2日(土) 9:05~(受付8:00~8:30)  
2部 平成30年6月 3日(日) 1部団体戦3回戦終了後

### 2 会 場

和賀川グリーンパークテニスコート [ TEL 090-1063-2318 ]

### 3 競技種別

- (1) 1部 個人戦・団体戦 共に男女別  
(2) 2部 個人戦・団体戦 共に男女別

### 4 競技規則

最新版日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックに準じ、マッチは全て7ゲームとする。

### 5 参加資格

- (1) 岩手県高等学校体育連盟加盟校であること。  
(2) 日本ソフトテニス連盟登録者であること。  
(3) 個人戦は、地区予選を通過若しくは出場推薦を受けたペアであること。

### 6 競技方法

- (1) 団体戦  
・3ペアによる点取り対抗戦とし、トーナメント方式で行う。  
・登録選手でのペアリング、出場順序は試合の都度、変更して差し支えない。  
・登録選手と監督の変更は、6月2日(土)の受付時間内に限り認める。(2部については、受付の時点で認める)  
・2ペアで試合に出場する場合は大会準備日前日まで地区責任者を通して専門委員長まで申し出ること。  
・監督は1日ごとに変更することはできない。  
・1校1チーム監督1名、選手4名以上8名以内であること。
- (2) 個人戦  
・トーナメント方式で行う。  
・選手変更は、正規の手続きに限り認める。
- (3) 詳細は専門部運営要項によることとする。

### 7 地区予選

1部男女個人戦について実施する。(団体戦はフルエントリーとする。)

#### (1) 地区予選会通過数

地区	久慈	二戸	盛岡	花巻	北奥	県南	釜気	宮古	推薦	計
男子	8	3	21	10	16	9	7	6	4	84
女子	5	6	20	11	13	10	10	5	4	84

- (2) 平成29年度県新人大会の個人戦でのベスト4進出ペアは推薦出場とする。

[推薦ペア]

男子 東 直樹・瀬川楓雅 (岩手) 筑後遥太・橋本年真 (盛岡工業)  
佐藤健太郎・吉田健人 (盛岡工業) 齋藤理来・柴田真宙 (岩手)  
女子 晴山輝星・富岡愛樺 (盛岡誠桜) 野崎有咲・昆 愛羅 (花巻南)  
日下愛望・谷岡未彩 (黒沢尻北) 大石鈴来・伊勢田梨歌 (黒沢尻北)

## 8 2部について

- (1) 団体戦・個人戦ともにブロック予選は行わない。  
(2) 個人戦参加ペア数の制限は行わない。

## 9 参加申し込み・連絡責任者

安 藤 綾 二 (花巻南高等学校) 〒025-0053 花巻市中北万丁目 288-1  
TEL : 0198-23-4236 / FAX : 0198-23-4365

\*参加申込書は1部においては各地区責任者がとりまとめ通過一覧表を同封の上、2部においては(定通制)強化委員が一括して4月27日(金)までに上記に郵送で必着のこと。

\*通過一覧表も予選終了後直ちに、専門部担当(盛岡商業高校 平 佳幸宛)にメール送信すること。

## 10 その他

- (1) 使用球は、団体戦をケンコー、個人戦をアカエムとする。  
(2) 配付するプログラム「競技上の注意事項」を確認の上参加すること。  
(3) ブロック予選の方法は、地区に一任する。  
(4) 選手の背中に規定のゼッケンを付けること。  
(5) ベンチ入り指導者(外部コーチ)を申請する場合は専門部の様式により各地区責任者を通じて、地区責任者が参加申し込みと同封し申込先に送付すること。  
(6) 長袖インナーウェアの着用については単色無地のものに限り上半身用のみ着用を可能とする。ただし襟元のメーカーロゴのみについて許可する。スパッツの着用は認めない。体調や体質の関係で上記規定に反する服装をしなくてはならない場合は大会前日までに専門委員長宛に連絡をいれること。  
(7) 審判従事の際には必ず公認ワッペンを着用すること。  
(8) 5月31日(木)の公式練習は会場にて北奥地区の学校には9:00から、その他の地区には11:00から公式練習として大会使用コートを開放する。  
(9) 入賞者の写真等をソフトテニス専門部HP・上位大会プログラム等へ使用する予定である。  
(10) 盛岡から一関に所在する学校は可能な限り宿泊しないこととするが、生徒の居住地等を勘案のうえ、出場校で責任を持って決定すること。  
(11) 日本ソフトテニス連盟が提唱している、「グッドマナー」を出場選手、監督、ベンチ入り指導者、その他関係者が積極的に推進し、気持ちのよい大会となるように心がけること。その一環として試合終了後の挨拶時には握手を必ずすること。  
(12) 今大会の結果、団体戦優勝校と個人戦上位6ペアに全国高校総体の、団体戦男子上位3校・団体戦女子上位2校と個人戦男女上位10ペアに東北高校選手権への出場権を与える。